

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第4回理事会 開催日：9月22日。出席者：的場会長
ほか 24 名。

1. 報告：編集、企画、研究の各委員会ならびに鉄鋼
科学技術国際会議の報告がなされた。

2. 秋季講演大会に関する件

秋季講演大会の行事ならびに理事の業務分担が決め
られた。

3. 「鉄鋼の強靱性」(仮題)に関するシンポジウム賛
助の件。

賛助することを決定。

企 画 委 員 会

第5回委員会 開催日：9月21日。出席者：依委員長
ほか 13 名。

1. 来年度事業計画と予算粗案作成に関する件

委員会、共研ならびに基共研の各委員会宛に企画委員
長名で事業計画ならびに予算案の提出依頼状を出すこ
とになった。

2. 湯川記念資金取扱規程制定の件

1. 記念講演会、2. 氏の挙げられた業績を記念するに
ふさわしい事業、の2事業に資金を使用する方針が承認
された。

編 集 委 員 会

第4回運営委員会 開催日：9月22日。出席者：松下
委員長、ほか 5 名。

1. 編集委員会各分科会の報告がなされた。

2. 第80回秋季講演大会で2回目の大会に関する意見
交換会、また初めての試みとしてのジュニアパーティ
(仮称)を行なう旨報告された。

第7回和文会誌分科会 開催日：9月3日。出席者：
松下主査、ほか 14 名。

1. 特集号「鋼の脱酸と鋼材の性質」(46年10月刊行)
の技術資料などの執筆依頼者を決め、勧誘論文につい
ては、次回までに推薦願うことになった。

2. 15件の論文につき報告があり、掲載可11件、修正
依頼4件。

3. 「鉄と鋼」第57年1号の論文8件、技術報告2
件、技術資料3件、委員会報告2件を選定した。

4. 技術資料11件につき執筆を依頼することになっ
た。

欧文会誌分科会 開催日：8月26日。出席者：中村正
久幹事、ほか 10 名。

1. 11件の論文について審査報告がなされた。

2. 委員よりの推薦と「鉄と鋼」56年9号から5件の
論文について投稿を勧誘することとなった。

共 同 研 究 会

鋼 管 部 会

第7回継目無鋼管分科会 開催日：8月17, 18日。出
席者：矢野主査、ほか 44 名。

第1日 (マンネスマン関係)

1. 「定型機における管の変形と品質について」まと
め

2. 新勤務体制移行後の要員についてアンケートまと
め

3. 作業休止時間のアンケートまとめ

4. 工場操業状況

第2日 (押出関係)

1. インダクションヒーター加熱試験報告

2. 作業要員に関するアンケート回答まとめ

3. 押出プレス主要諸元

4. 工場操業状況

なお次回の議題として下記を取り上げることになっ
た。

1. ガラスの除去

2. エキスパンディングについて

3. インダクションヒーターに関する共同実験。

第7回溶接管分科会 開催日：8月24, 25日。出席
者：渡辺主査、ほか 40 名。

第1日 (サブマージドアーク溶接関係)

1. 製管による機械的性質の変化

2. 芯線角度、位置と溶接性

3. 工場操業状況

なお、次回議題として、上記1項および2項をさらに
継続して検討することになった。

第2日 (電綫管関係)

1. フォーミングについて

2. 製管による機械的性質の変化

3. リパースベンドテスト

4. 鋼の時効硬化

5. 工場操業状況

次回議題として、上記2項の継続検討および新しく要
員の問題を取り上げることになった。

原 子 力 部 会

第8回第3小委員会 開催日：7月27日。出席者：
藤家委員長代理、ほか 25 名。

1. 他小委員会の状況報告

原子力部会の他小委員会の活動状況について報告があ
り、特に第4小委員会で調査された水素除去装置につい
て紹介された。

2. ドラゴン炉講演会報告

去る7月3日に行なわれた Dr. SHEPHERD による講
演「OECD-Dragon プロジェクトの現状」について報
告された。

3. 今後の方針

製鉄用高温原子炉検討WGの設立が決定され、さらに立地、安全性検討WGの設立が予定された。

第8回第4小委員会 開催日：8月24日。出席者：藤木部会長、森小委員長、ほか28名。

1. 熱交換器の試験装置について

Heテストループ、熱交換器の小型試験装置の諸元の検討を行なった。

2. 熱交換器用金属材料について

Incoloy 800, Inconel 600, HK40などの高温用金属材料の強度などに関する検討データの発表が行なわれた。

3. 第4小委の報告書作成について

本年末までに第4小委員会の検討結果を集約した報告書を作成することとし、各委員の分担毎に原案ができ次第委員会に提出して貰うこととした。

第1回システム小委員会 開催日：9月1日。出席者：池田小委員長、ほか17名。

1. システム小委員会運営要領について

今回新たに設立された本小委員会の運営に当たつての要領が示され、了承された。

2. 各小委員会の概況報告

第1～第5小委員会の今までの活動状況、および問題点などについて報告があつた。

特にシステム小委で取りあげるべき境界領域的な問題点を抽出し、今後検討を行なうこととした。

3. 今後のスケジュールについて

次回会議までに今後行なうべき事項のスケジュールを作成し、検討することとした。

標準化委員会

第12回ISO鉄鋼部会 TC17/SC1 分科会

開催日：8月25日。出席者：川村主査、ほか7名。

1. S定量法について

Nydahl法の共同実験を来年3月末までに行なう。方法についてはイタリア案、イギリス案が揃つた段階で要領を作成する。

また高燃法については国内での意見をまとめておく。

2. V, Mo定量方法について

SC1事務局の共同実験案を参考にして、国内の共同実験を本年12月末までに行なうことになった。

第12回 TC17/SC4 分科会

開催日：8月27日。出席者：鈴木主査、ほか12名。

1. ISO/TC17/SC4 東京国際会議の準備

1. 本年10月26日～29日の国際会議出席者の検討および会議準備について検討を行なった。

2. 懸案事項の検討

国際会議において審議される下記項目について検討を行なった。

- (1) バルブ鋼
- (2) 耐熱鋼
- (3) 析出ステンレス鋼
- (4) ペアリング鋼
- (5) フックおよびチエン用鋼
- (6) 冷間引抜用鋼

第11回 TC17/SC12 分科会

開催日：9月1日。出席者：三佐尾主査、ほか10名

10月19～23日東京開催の第3回 SC12 国際会議で検討される、熱漬亜鉛鉄板・リローリング用熱延鋼帯(板)・熱延(冷延)構造用鋼に関する ISO Proposal の日本コメントの最終打合せを実施した。

第22回鋼管分科会 開催日：8月7日。出席者：桑原主査、ほか11名。

1. 低温用鋼管の衝撃試験

各社分担試験によつて、これまでに得られたデータについて、総合的な検討を行なった。

2. 鋼管の伸び規定について

各社分担試験の結果について討議が行なわれ、弧状試験片の場合、 n 値が大きくなることについて、理論的な解析を行なうことになった。

3. 鋼管 JIS 昭和 45 年度見直し計画について、今後の進め方を討議した。

石炭成型法委員会

開催日：8月19日。出席者：久田委員長、ほか7名。

「国内炭活用製鉄用コークス製造試験」に関する研究は、間接補助事業として石炭技術研究所の依頼により新日鉄(旧八幡、旧富士)ほか7社の参加を得て、昭和39年4月1日より昭和41年1月31日まで共同研究を実施した。これにより取得した試験研究設備は通産大臣の定める処分制限財産として5年間にわたりそのまま保管管理を現在まで続けてきたが、本年3月31日をもつて満期となった。

この設備は新日鉄八幡製鉄所洞岡コークス工場構内において保管管理をお願いしていたので当会では新日鉄本社を通じて現地に現状調査を依頼してこの結果を基に本委員会を開催することとなった。本委員会では撤去解体を議題に検討した結果、成型機のみが引取り希望であつたが、他の試験機器でも回収可能のものはできるだけ回収に努め、撤去解体により生ずるスクラップとともに売却収入を上げ協会の撤去作業費用などの収支に支障を生じないよう原則的の了承を得、解体を決定した。

新 入 会 員 氏 名

(昭和45年7月1日～8月31日)

維 持 会 員

大倉電気(株)

大阪酸素工業(株)

正 会 員

鴨木 三郎 大阪酸素工業(株)

川又 勝重 川崎製鉄(株)技研

松村 治 “ “

北尾 斉治 “ 水島製鉄所

小山 博文 “ “

高橋 英幸 “ “

峰 公雄 “ 水島技研

表 雄一 関東電化工業(株)

中央研究所

浜田 健二 関東特殊鋼(株)

堀木 雅之 久保田鉄工(株)

尼崎工場

串田 慎一 (株)神戸製鋼所

高砂工場

佐藤 益弘 (株)神戸製鋼所

加古川建設本部

松井 秀雄 “ 加古川製鉄所

宮原 征行 “ 中央研究所

柳 義親 “ “

前花 忠夫 “ “

布施 憲 “ 尼崎工場

川本 国雄 “ 中央研究所

後藤 裕 光と精鉄(株)戸畑工場

中野 正明 “ “

花田 福治 “ “

木林 靖忠 (株)小松製作所

技術研究所

長島 登 昭和高压工業(株)

小椋 徹也 新日本製鉄(株)

釜石製鉄所

加藤 幸平 “ “

多田 正 “ “

高橋 利徳 “ “

真鍋 恒忠 “ “

盛田 隆夫 “ 君津製鉄所

山口 福吉 “ “

司城 秀幸 “ 堺製鉄所

須賀 芳成 “ “

松井 正昭 “ “

秋田 靖博 “ 名古屋製鉄所

村田 亘 “ 光製鉄所

西尾 通卓 “ 広畑製鉄所

米崎 茂穂 “ “

在家 達雄 “ 室蘭製鉄所

森 一憲 “ “

藤原 利之 “ 八幡製鉄所

室田 昭治 “ “

矢田 浩 “ “

吉村 博文 “ 技術研究所

杉田 裕彦 住友化学工業

軽金属事業部

滝川 七雄 住友金属工業(株)

鋼管製造所

岡沢 亨 “ 和歌山製鉄所

川沢 建夫 “ “

吉岡 博行 “ 和歌山製鉄所

山下 豊樹 住友重機械

新居浜製造所

瀬本 正三 大同化学工業(株)

技術研究所

中藺 直人 “ “

平井 亀雄 “ “

児玉 茂樹大福機工(株)

生産本部技術課

岡田 研一 電気化学工業(株)

大牟田工場

佐藤 完往 東洋工業(株)

第2生産技術課

角田 進 東洋鋼板

下松工場品質課

松井 勝彦 名古屋市工業研究所

岡村 宣昭 日新製鋼(株)

呉製鉄所, 技術課

河野 正人 “ “ 製鉄作業課

川戸 久 日新製鋼(株)

周面製鋼所

川内 守夫 日本金属工業(株)

相模原研究室

高橋 継夫 日本鋼管(株)

京浜製鉄所

増山 雄平 “ “

山田 健夫 “ 技術研究所

帆足 有人 日本砂鉄鋼業(株)

石坂 淳二 (株)日本製鋼所

室蘭製作所

平井 素夫 日本冶金工業(株)

大江山製造所

鈴木 佐 日本軽金属(株)

資料センター

剣持 和夫 日本酸素(株)

前川 健二 日立金属(株)

安来工場

宮崎 鉄男 三菱製鋼(株)

東京製鋼所

甘粕知一郎 “ 技術研究所

浦 信男 “ 製鋼課

滝沢 実 理研製鋼(株)

森 英昭 “ “

鈴木豊之助 和田特殊製鋼(株)

花木 香司 大阪大学工学部冶金学

教室

松井 修 京都大学工学研究科

須藤恵美子 金属材料技術研究所

今井 八郎 芝浦工業大学

金属工学科

金子恭二郎 東京大学生産技術

研究所

伊藤 光男 “ 工, 産業機械工学科

木村 宏 東北大学金属材料

研究所

加藤 春男 東北大学金属材料

研究所

本間 浩夫 日本揮発油(株)

研究開発本部

菅又 信 日大, 生産工学部

機械工学科

学 生 会 員

中村 守 鉄鋼短期大学

岩永 祐治 大阪大学, 院, 冶金学

大塚 孝央 “ 工学部, 冶金科

白石 昌司 “ 院, 冶金

野城 清 “ 院, 冶金科

西座 新二 関西大, 院,

工学研究科

森永 健次 九州大学, 工, 冶金科

岡田 稔 京大, 院, 工学研究科

芳賀 武 釜浦工大, 院,

金属工学科

高橋 清 “ 工, 機械工学科

三田 重義 東京大学, 院,

工学系研究科

峯浦 潔 東北大, 院,

工学研究科

西田 和郎 富山大学, 工学部

中居 信雄 “ “

星野 和義 日本大学, 院

小谷 博信 姫路工業大

金属材料工学科

石原 F. 博教 北海道大学, 工,

冶金工学科

小西 信明 “ 院, 化学

外 国 会 員

Mr. Turpin France